

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

愛知県西尾市 西尾市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	対象	未訓ガ	救 臨 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
171,899	26,176	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU 未…未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

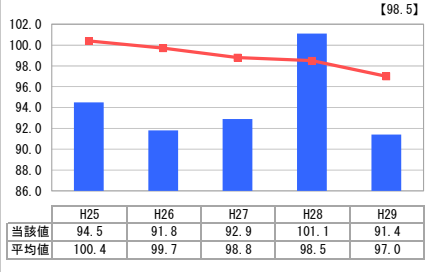
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
372	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	372
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
298	-	298

**グラフ凡例**  
 ■ 当該病院値（当該値）  
 - 類似病院平均値（平均値）  
 【】 平成29年度全国平均

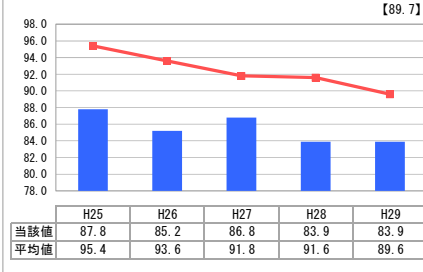
## 1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率（%） [98.5]



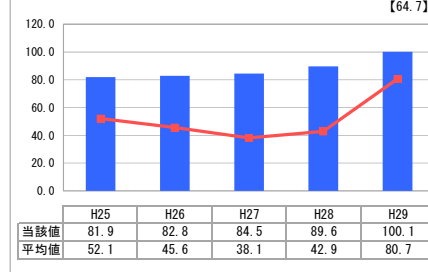
「経常損益」

②医業収支比率（%） [89.7]



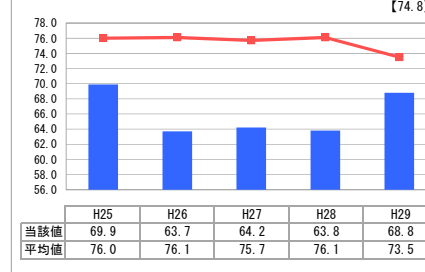
「医業損益」

③累積欠損比率（%） [64.7]



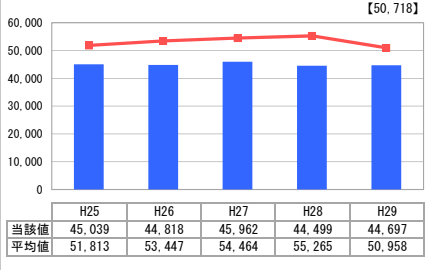
「累積欠損」

④病床利用率（%） [74.8]



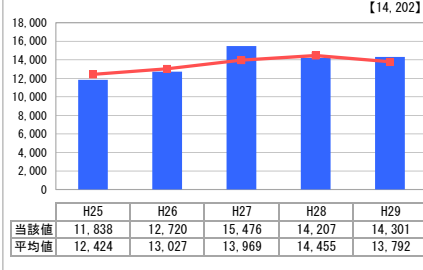
「施設の効率性」

⑤入院患者1人1日当たり収益（円） [50,718]



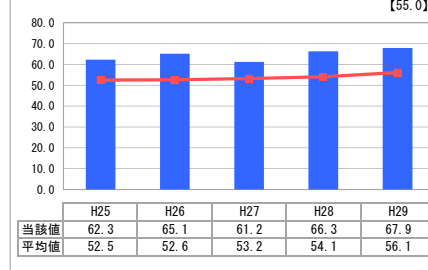
「収益の効率性①」

⑥外来患者1人1日当たり収益（円） [14,202]



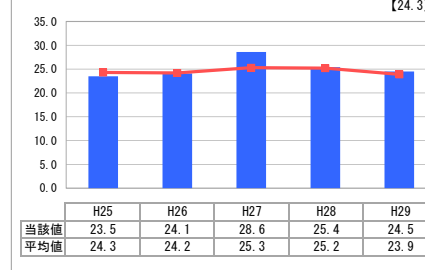
「収益の効率性②」

⑦職員給与費対医業収益比率（%） [55.0]



「費用の効率性①」

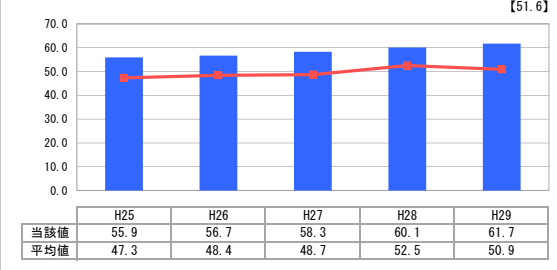
⑧材料費対医業収益比率（%） [24.3]



「費用の効率性②」

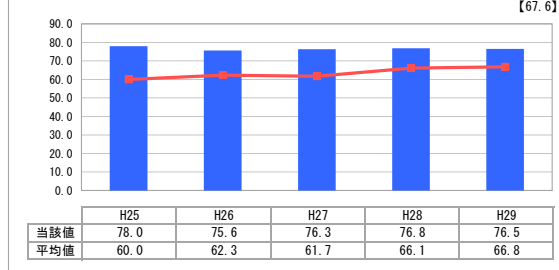
## 2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率（%） [51.6]



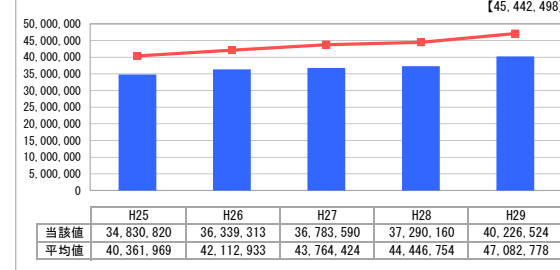
「施設全体の減価償却の状況」

②器械備品減価償却率（%） [67.6]



「器械備品の減価償却の状況」

③1床当たり有形固定資産（円） [45,442,498]



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

西尾市民17万人の命を守る地域の中核病院として、急性期医療と急性期を脱した患者の在宅に向けた医療を提供していく役割を担うとともに、地域の開業医と連携して、地域完結型医療に取り組んでいます。近年、増加基調である当院への救急車による搬送件数も年間約4,000台あり、近隣の公立病院を上回る水準となっています。また、災害時には、西尾市医師会、地域の医療機関と連携し、被災地への医療確保、被災した地域へ医療支援を行うため、地域の災害拠点病院の中心的な役割を担っています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、前年度が100%を超えていますが、これは国の輸出比率以上の輸入によるもので、その他は平均値を下回っており、経常収支比率向上のため、経営改善（改革プランの実行）に取り組んでいます。②医業収支比率は、医業収益が前年度において微増となりましたが、慢性的な医師不足による影響が大きく、抜本的な収益向上が図られておらず、また費用においては、給与（退職給付の引当）の増加により、平均を下回る状況にあります。③累積欠損比率は、毎年（平成28年度除く）欠損金を計上しており、収益向上に向けた経営改善（改革プランの実行）に取り組んでいます。④病床利用率は、入院患者数の増加及び一部の許可病床数を返還したことにより、病床利用率は増加しているが、平均値を下回っています。⑤入院患者1人1日当たり収益は、常勤医師の不足により、平均値を下回っており、医師確保（改革プラン）を重点に取り組んでおります。⑥外来患者1人1日当たり収益は、適正水準と考慮しております。⑦職員給与費対医業収益比率は、平均値より高く推移しており、一部病棟の休床等により、職員数の適正化に努めております。⑧材料費対医業収益比率は、ほぼ平均値（平成27年度除く）で推移しております。※平成27年度は、高額医薬品（C型肝炎治療薬）による影響

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、病院本体を平成元年度に建設しており、28年経過し、法定耐用年数も残り11年となっております。今後、病院施設の長寿命化等の施設整備計画の策定に向け、検討する必要があると考えております。②器械備品減価償却率は、施設同様に器械備品においても、平均値より老朽化度が高く、資産購入費の抑制もあり、器械備品の更新が出来ておらず、計画的な更新が必要であるとと考えております。③1床当たり有形固定資産は、平均値より低い水準で推移しており、将来的な収益的支出が増加傾向にないと考えております。

## 全体総括

許可病床数の一部の返還や一部の病棟の休床、善南市への今後のあり方に関する協議の申し入れを行うなど抜本的な改革に取り組んでおりますが、改革プランで掲げた多くの取り組みで根幹をなす、医師不足の解消には結びついておらず、実質的に19年連続となる純損失を計上している状況です。当院としては、病院存続を念頭に置き、西尾市民の命を守ることを使命とし、西尾市民病院中期計画や西尾市民病院改革プランにおける各種取組項目を着実に実行し、また必要に応じて各種取組項目の見直しも検討し、安定的な医療の提供が行える病院運営に努めます。

（平成29年度新公立病院改革プラン策定済、平成31年度新公立病院改革プラン見直し予定）

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。